カリキュラム・ツリー

学科名	美容総合学科
専攻名	国際美容コミュニケーション専攻

2019年度

専攻のディプロマ・ポリシー

本学の教育目標は『美しく生きる力』を形成することである。よって、国際美容コミュニケーション専攻の輩出する人材像は、具体的に以下の能力を身に付けた者である。

1.【知識・技能】 知識や技術を適切に運用できる能力
- 必要な情報を収集、整理し、課題を発見できる
- 習得した美容の知識や技能を関連づけながら他者への提供ができる
- 国際性を総合的な視点で捉え、英語によるコミュニケーションを発揮することができる

2.【思考力・判断力】 課題解決のために思考し、判断できる能力
- 広い視野と、思考法に基づき分析、解釈できる
- 根拠に基づき判断し、解決策を立てることができる

3.【表現力】 課題解決のために適切に表現できる能力
- 習得した知識や技能を基に、自分の考えを組み立て、適切に表現（記述・口述・作品等）できる
- 解決策を提示できる

4.【主体的行動力】
課題解決のための精神力、主体的に行動できる能力
- 自ら率先して学ぶことができる
- 自己を理解し、主体的に適性や個性を生かし行動できる
- 失敗してもあきらめずにやり遂げることができる
- 社会の一員として、自覚と誇りを持って行動できる

5.【ホスピタリティ・コミュニケーション力】
多様な人とホスピタリティをもってコミュニケーションできる能力
- 様々な状況に応じて適切な対話、討論ができる
- 目的達成のために、多様な人と協働できる
- 様々な人のニーズを把握し、おもてなしの精神を持ったサービス提供ができる

専攻のカリキュラム・ポリシー

本学の教育目標は『美しく生きる力』を形成することである。国際美容コミュニケーション専攻は、幅広い教養と、美容知識・技術の習得を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、語学力や自国文化を含めた異文化理解などの国際性を兼ね備えた、サービス産業を中心とする様々な分野で活躍できる人材を育成する。そのため、以下のような方針に基づきカリキュラムを編成している。
国際美容コミュニケーション専攻のカリキュラムは、次の4つの領域で構成する。
下記の4領域を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、あらゆる他者にホスピタリティ及びコミュニケーション力を発揮できる力を身につける。

1）教養領域	2）語学領域	3）美容知識・技術領域	4）国際領域
伝承美や社会学、心理学等の教養を身につける。	英語・日本語によるコミュニケーション力を身につける。	根拠に基づく技術を身につける。	多様な文化を学ぶことで、国際性を身につける。